

碩心

題字は松井岳洋筆

No.363

平成16年1月

発行

(社)日本詩吟学院岳風会 認可
神奈川 碩心会

発行者 加藤岳洵
編集者 磯村岳朋

神奈川県葉山町堀内206
Tel/Fax.046-875-3723



新年を迎えて

会長 加藤 岳 洵

あけましておめでとうございます。
会員の皆様には、お健やかに平成16年の新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。
本年も各役員並びに会員の皆様には、会の運営に変わらぬご協力とお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

昨年は事業運営の一つであります各教場訪問について、皆様のご理解を戴き4月25日、滝の坂支部滝の坂教場を皮切りに、十五の教場を訪問いたしました。この訪問の所期の目的であります運営改善等の提案に關し、温習会のプロ内容と出吟順番の見直し、役員会の議事内容の開示、老人ホーム等の施設に対する出張指導態勢の検討、指導者の後継問題等貴重な提言を戴きました。この内容は役員会に報告し検討して参りましたが、今年には実行可能なものについて、これを具体化し実施するよう前向に行動したいと考えております。
また、私達の吟詠活動を社会に認知して貰う行動について、吟道一月号「新春座談会・



新年を迎え

副会長 矢 嶋 岳 悦

会員の皆様、明けましておめでとうございます。ご家内の皆様共々よい新年をお迎えの



新しい年を 迎えての期待

副会長 松 井 岳 篁

ことと存じます。
昨年は色々行事も多く、大変お忙しかったと思います。一つ行事が終るごとに皆様の吟がレベルアップし精進されていることがよくわかります。今年も県本部の50周年大会もあり忙しくなることと思いますが、よろしく御協力下さる様お願いいたします。
私も微力でございますが、一生懸命勤めさせていただきます。

二〇〇四年の新しい年を碩心会々員の皆様ご家族共々迎えられたこととご推察致します。昨年は吟道大会など行事が例年になく多かつたように思いますが会員の皆様のご協力で恙なく終了することが出来ましたこと感謝申し上げます。

今年も昨年と同様総本部、県本部、碩心会の事業予定が発表されました。又忙しい年になりそうですが頑張っていくつもりです。会員の皆様もどうか詩吟を楽しみながら続けてほしいと思います。事業の中には年齢別吟詠大会、優秀吟者吟道大会など個人的に参加出来るものもあります。一つの事に挑戦するのにも吟道上達の近道と私は思っています。
皆様のご健吟にご期待申し上げ新年のご挨拶といたします。

行事予定

- 準師範・正師範審査
日 程・2月7日(土)
会 場・平塚市民センター
- 碩心会春季審査会
日 程・3月28日(日)
会 場・逗子市図書館ホール
- 高段者審査会
日 程・4月4日(日)
会 場・磯子公会堂
- 県本部50周年記念吟道大会リハーサル
日 程・4月8日(木)
会 場・地球市民かながわプラザホール
- 準師範講座
日 程・4月18日(日)
会 場・県本部事務所
- 第12回神奈川地区吟道大会
日 程・5月3日(祭)
会 場・茅ヶ崎市市民文化会館
- 県本部50周年記念吟道大会リハーサル
日 程・5月13日(木)
会 場・地球市民かながわプラザホール
- 神奈川県本部50周年記念吟道大会
日 程・5月29日(日)
会 場 神奈川県民ホール

肅々とそして賑やかに初吟会開催

穏やかな正月三が日の余韻を引き継いで、曇天ながら風静かな成人の日、今年の初吟会は昨年と同じレイ・ウエル鎌倉で開催されました。

第一部は、松井副会長の司会のもと、先ず加藤会長の意欲ある年頭挨拶と、会場全員による「碩心会の詩」の力強い大合吟で幕を開きました。

皮切りの各支部及び指導者の合吟は、例年新春に因んだ吟題が多く、皆さんお屠蘇気分の内にも襟を正した顔つきで今年の初舞台を堂々と吟じられました。続く県本部の鹿嶋岳久、加藤岳心両先生によるご挨拶と吟詠はまさに正月らしく会場に凛としたものを醸し出し、続く役員吟詠も又肅々且つ朗々と続けられ、この会場の雰囲気は掉尾を飾る祝詩舞吟の富士山で一氣に頂点に達しました。

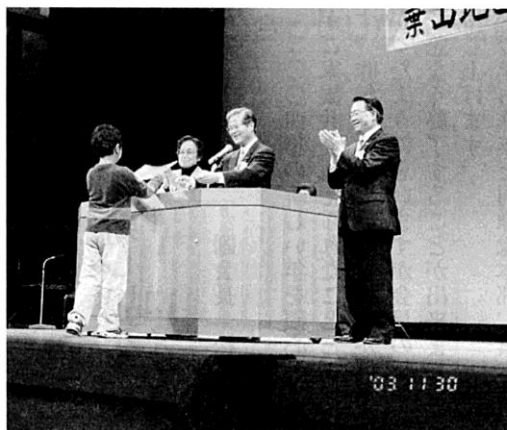
一転して、会場を移した午後からの懇親会は乾杯もそこそこに和やかで又賑やかな演奏ラッシュの共演となりました。民謡あり、カラオケありの盛り沢山のプログラムが満杯となり、進行係は汗だくの大奮闘でした。

最後は恒例の参加者全員17名の万歳三唱で今年の碩心会の発展を祈念し幕を閉じました。

広報部 記

葉山地区吟道温習会開催される

小雨煙る晩秋の11月30日(日)葉山町福祉文化会館にて葉山地区吟道温習会が開催された。実行委員長の沼田岳義先生を始め、当日の担当役員の皆様は8時45分に会場に集合して、10時の開始に備えてそれぞれの役割を実に手際よく進めて行った。



碩心会のアイドル広瀬優作君の少8級許証授与

修礼、開会のことば、「碩心会の詩」大合吟と進み、碩心会のアイドル広瀬優作君をトップに第一部葉山地区会員吟詠が始まった。プログラム全体で山題中8題欠内代吟2題で出吟率93%だった。全体を通して舞台上での立ち居振舞い、尺八伴奏と吟じ出しの間、マイ

クの扱い方等々反省材料がかなりある様に感じた。式典以外での演台の使用も今後の検討課題と思う。会長挨拶にあった様に、舞台度胸は経験に比例するので、温習会で全員に与えられる**舞台上**に**活躍の機会**を『盲亀の浮木』と捉えて最大限に活用して行きたいものである。

又、福祉文化会館という入れ物を考慮して、地区会員、協賛会員を問わず合吟の形で出来るだけ多くの皆様に登壇の機会があるようにプログラム作成段階で配慮する必要性も感じた。

広報部記

教場訪問

◆堀内F教場

堀内F班は、昭和45年頃に発足し、2年ほど中村岳愛先生に自宅へ来て頂き、当時矢嶋岳悦、矢島佳岳、池田清岳、矢嶋晃岳、退会された鈴木静江さんと5名、舞のお稽古をお願いしておりました。中村岳愛先生のお計らいで、根岸会長(当時)が『そのまま吟の教室をもつてたら』とのお話があり、叔母、従姉妹、姪、妹と、近くに住む一族を頼み教場を持ちました。昭和55年には友が友を呼び20名からの会員が勉強をはじめました。昭和60年9月には一色に住む齋藤和岳さん宅にも教場

を作りました。当時は40代の会員が多く、皆子育てと両親の介護と忙しく、時間が許す時にと自宅で週2回、齋藤宅で週1回とお稽古をして今に至りました。喜び、悲しみを全員一致で受け止め、会を盛り上げる楽しい教室です。現在28名内男性2名と少しさみしいです。昨年は準師範を3名審査して頂き講習を待っているところです。来年は25周年になります。ますます会の発展、会員増強と力を尽くしたいと思っています。(矢嶋岳悦記)

堀内F教場の皆さん

◎は担当指導者



石川響岳 鈴木智恵子 矢島佳岳
矢嶋晃岳 沼田祝世 小西勝岳
杉山美風 池田清岳
守屋悦風 (加藤会長)
岡本優岳 齋藤和岳
矢島容風
水留稜風 曾村静岳 ◎矢嶋岳悦
葉山壽岳
大西雄風 大坪久岳 松井岳章
村上雅岳
森 律山
押山照岳 高井道岳

欠席者
矢島綾風 島山真風 角田雅山
矢嶋且山 太田寿子

平成15年12月13日(土)晴れ、18時より、真名瀬会館に於て、堀内F班の教場訪問を行いました。22名の出席者全員の「朗詠」合吟で始まり、曜日毎の合吟、先ず木曜日組「海南行」・金曜日組「冑山の歌」・土曜日組「大楠公」合吟を一通り終わり、94才小西勝岳さんの独吟、石川響岳さんの尺八伴奏付きで吟じまだまだ元気なところをアビールしました。

後半は、許証授与や、会長お話、意見交換など、当日は、堀内Fの納会でもあり大変楽しく、盛り上がりました。

新春雑感

逗子A 村田 岳 滯

八ヶ岳山荘を申込んだから行きましようとな娘からさそわれ、そんな寒い処へと思ったが行くことにし、娘の所に出かけ年越をした。元旦には高松から子供三人連れて孫夫婦がやって来た。近くに居る孫夫婦子供一人と新婚の二人と勢ぞろい。

二日車で出発、周囲をかこむきり立った山などらかな山々が迎えてくれました。

息子が好んで登った山々を見ながら感慨深い

ものがあり来てよかったなあと思いました。晴天に恵まれ子供達は人工雪のスキーで大よろこび、楽しいお正月を過ごしました。

翌日は多摩動物園に行き、キリン・ゾウ・シマウマ・と見てまわりライオンバスに乗りましたが、ライオン達は平和になれてかゴロゴロとねころんでおりギリギリとした目を見せることもなく子供達に百獣の王だとはとても話せません。四年生の曾孫がまだ宿題が残っておりおばあちゃんに見てもらいなさいというので見ている漢字の書き順が違うのにおどろいて、「こうかくのよ」と言っているとお母さん今はこんな教え方をしているのだからあまり言わない方がいいわよと言われへエ……やつと宿題が終る。これからは小学校でもパソコンで字を書く時代になり、人が字を書かなくなるのではないかと案じられる。六日子供達も高松へ帰り私も帰宅した。待望の年賀状を見て又おどろき皆が同じ字では……パソコンの出来ない私のひがみでしようか。字を書く時代に生れた私達は幸せと思いい、楽しんで漢詩の良さ、漢字の美しさを味わいながら学んで行き度いと思います。十日より娘達と京都へ二泊、花のない京都で

したが、久し振りのお寺参りに心なごむ思いがしました。

大阪で姉の法事をすませ今年のお正月が終りました。

今年も生きる喜びを感謝し一日一日を大切に過ごしたいと思います。

俳句

松和 岩崎 岳恵

初空へ翼を張りぬ太郎杉

餅膨れ無学の頭空つぽに

簡単な知恵の輪解けず餅焦がす

滝の坂 佐久間 岳爽

花櫛の見え隠れして初詣

七草の深空ありけり父祖の山

冬田道ひと通らねば振り返り

堀内 五十嵐 瑠璃子

掛け大根三浦の空に眩しけれ

間引き菜を籠いっばいに畔の道

残菊を活けて少年ほほえめり

○入会 (12月1日付け)

420 広瀬 直樹 葉山町上山口1454・11

(唐木山)

☎046・878・6270

紹介者 広瀬晴岳

○退会 (12月1日付け)

387 千野勝泉 (逗子A) 392 遠藤孝治 (逗子A)

○退会 (1月1日付け)

50 沼田岳静 (下山口)

○住所変更

169 草柳武岳 横浜市保土ヶ谷区坂本町

106・1・409

☎045・332・0855

○支部移籍

162 徳本華岳 堀内D支部より逗子A支部

編集後記

穏やかな新春を迎え、広報部一同張り切って居ります。本年は行事予定として神奈川県本部創立50周年記念大会が開催されます。健康に留意し、全員で大会を成功させましょう。今年も皆様の原稿をお待ちしております。 広報部

16年 1月現在	会員数
葉山地区	160名
逗子・大船地区	126名
(合計)	286名